

下平地区まちづくり懇談会（記録）

10月10日（水）19時～
九頭竜会館（下平地区館）

[参加者] 段丘太、景観良、花粉なくし太郎、筍徹、杉谷檜（地区担当）、森林オブジョイトイ（地区担当）

1、段丘林に対する町の取り組みについて（プロジェクト紹介）

2、城坂竹林整備事業進捗状況について

3、懇談

＜プロジェクトからの質問＞

Q今回竹林がリセットされうわものがすべて処分されますが、きれいな状態になれば地権者の皆さんは山林を維持管理することができますか？

A地権者が維持管理することはできない。できないから今の状態になっている。竹もかつてはお金になったので手入れがされたが、今は針葉樹（ヒノキやスギなど）ですらお金にならない。自分で作業するにもやりきれないし、大金をかけて管理することもできない。

Q下平地区として地域住民で管理することはできますか？例えば区山の作業と内容を振り返るなど…。

A区山の作業と並行して地域で整備することは難しい。区山の作業であっても出席者は限られる。地権者によって整備への取り組みに差が出るため、地権者の意向を調査して地元で管理する場所と町で管理する場所の分けができれば。一体的な管理をしなければすぐに竹林に戻ってしまう。

Qくましろの森のように、私有地に第三者（民間企業など）が入って整備することに対して抵抗がありますか？

A地元での管理は難しいため、管理してくれる組織があればありがたい。第三者が入って山の管理をしてくれることに対して抵抗はない。世の中の情勢も変わっているため、時代に合った新しい仕組みを町で考えてほしい。維持管理するには外部組織（企業など）との連携は重要なかもしれない。

Q竹林から広葉樹の山になることで不安はありますか？落ち葉など…。

A落ち葉については現時点ではイメージがわからない。落ち葉よりもツル性植物（アレチウリなど）の発生が心配。急傾斜地であるため、広葉樹は倒木した場合の処理が大変そう。

<意見、要望、質問>

- ①竹林をすべて伐採して大丈夫なのか。土砂災害などに対する防災対策は考えているのか。
→城坂については専門家に調査してもらっている。毎木調査も行っており、立木も多くあるため切ったから崩れるという心配はない。また、竹林については根が浅く荒廃した状態で斜面にある方がかえって崩落の危険が高い。
- ②整備対象地は急傾斜地となっているが、竹林を伐採するにあたり県と話はできているのか。
→県の職員にも現地を見てもらっている。また、急傾斜地ということで保安林指定されている山林も含んでいるため、保安林内作業許可申請を提出している。
- ③伐採後も竹や雑草木が生えてくるが、今後も町で管理してもらえるのか。
→伐採から処分までは町で行うが、今後の維持管理については検討中。本日も意見をいただきたい。※
- ④自分の山だが自分で管理することはできない。昔は竹を買いに来てくれていたため自分で山の手入れを行うことはなかった。
- ⑤城坂の道が整備される前は、山道があり山の中に容易に入ることができた。また、大きな広葉樹もあり、カブトムシなども採れた。しかし、道が整備されたことで大きな広葉樹は切られ、山も分断されてしまい、人が入らなくなった。結果、荒廃が進み竹藪となった。
- ⑥竹林がなくなることで今までとは見え方が変わってくる。国道からよく見えるため桜などを植えると見栄えがするのでは。山を体験したり、管理するには遊歩道があるといい。管理しやすく注目を集める場所であれば支援者が現れるのでは…。
- ⑦誰かが常駐して管理できる体制が作れないか。退職した人でもいいが、定期的に管理できる人がいれば維持管理できるのでは。（管理母体を作る）
- ⑧段丘林伐採（竹林？）後の対策の考え方に具体性がない。
- ⑨竹林伐採後の維持管理を地元で期待されては困る。



（住民参加；男 16 名、女 1 名）